

検定問題の一部見直しについて：1級建築施工管理 〔施工技術検定規則 別表第一より抜粋・加筆〕

※赤字：主要な変更点

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第一次検定	建築学等	1 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な建築学、土木工学、電気工学、電気通信工学及び機械工学に関する一般的な知識を有すること。 2 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書に関する一般的な知識を有すること。	知識	四肢択一 (マークシート方式)
	施工 管理法	1 監理技術者補佐として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識を有すること。	知識	
		2 監理技術者補佐として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有すること。	能力	五肢択一 (マークシート方式)
	法規	建築工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する一般的な知識を有すること。	知識	四肢択一 (マークシート方式)

※1 第二次検定の所要実務経験年数を学歴に拘わらず一定とすることから、第一次検定において、建築学の基礎的な知識を確認する設問を含める等、検定問題の充実を図る。

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第二次検定	施工 管理法	1 監理技術者として、建築一式工事の施工管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	知識	五肢択一 (マークシート方式)
		2 監理技術者として、建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる応用能力を有すること。	能力	記述
		3 監理技術者として、設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる応用能力を有すること。		

※2 第二次検定において、受検者の経験に基づく解答を求める設問に関し、模範解答例の暗記等ではなく、自身の経験に基づかなければ解答できないような設問への見直しを行う。

【！】受検の公平性の観点から、試験問題に関する問い合わせはお受けできません。

検定問題の一部見直しについて：2級建築施工管理〔施工技術検定規則 別表第二より抜粋・加筆〕

※赤字：主要な変更点

検定区分	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第一次 検定	建築学等	1 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な建築学、土木工学、電気工学、電気通信工学及び機械工学に関する概略の知識を有すること。 2 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書を正確に読みとるための知識を有すること。	知識	四肢択一 (マークシート方式)
	施工 管理法	1 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する基礎的な知識を有すること。	知識	
		2 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な基礎的な能力を有すること。	能力	五肢択一 (マークシート方式)
	法規	建築工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する概略の知識を有すること。	知識	四肢択一 (マークシート方式)

※1 第二次検定の所要実務経験年数を学歴に拘わらず一定とすることから、第一次検定において、建築学の基礎的な知識を確認する設問を含める等、検定問題の充実を図る。

検定区分	受検種別	検定科目	検定基準	知識・能力の別	解答形式
第二次 検定	建 築	施 工 管理法	1 主任技術者として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)
			2 主任技術者として、建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる応用能力を有すること。	能 力	記 述
			3 主任技術者として、設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる応用能力を有すること。		
	軀 体	躯体施工 管理法	1 建築一式工事のうち基礎及び躯体に係る工事の施工の管理を適確に行うために必要な概略の知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)
			2 基礎及び躯体に係る建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度等を得るために必要な措置を適切に行うことができる高度の応用能力を有すること。	能 力	記 述
			3 建築一式工事のうち基礎及び躯体に係る工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法を正確に理解し、設計図書に基づいて、当該工事の工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる高度の応用能力を有すること。		
仕 上 げ	仕上施工 管理法	1 建築一式工事のうち仕上げに係る工事の施工の管理を適確に行うために必要な概略の知識を有すること。	知 識	四肢択一 (マークシート方式)	
		2 仕上げに係る建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる高度の応用能力を有すること。	能 力	記 述	
		3 建築一式工事のうち仕上げに係る工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法を正確に理解し、設計図書に基づいて、当該工事の工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる高度の応用能力を有すること。			

※2 第二次検定において、受検者の経験に基づく解答を求める設問に関し、模範解答例の暗記等ではなく、自身の経験に基づかなければ解答できないような設問への見直しを行う。

【!】 受検の公平性の観点から、試験問題に関する問い合わせはお受けできません。